



## 第46回 香川県医学検査学会のご案内

今学会は現地と Web のハイブリッド開催といたします。現地開催は通常通り開催し、Web での開催方法については、音声付きスライドを香臨技ホームページ内の会員専用ページで配信するオンデマンド形式とし、現地での質疑応答等は配信されません。

また、定時総会については Web 配信しないことになりましたので、Web 開催では定時総会の生涯教育点数は付与されません。

**日 程 (現地開催) : 2023 年 4 月 16 日 (日) 8:30 ~ 12:30**

**日 程 (Web開催) : 2023 年 4 月 23 日 (月) ~ 5 月 12 日 (金)**

**会 場 (現地開催) : 香川県立保健医療大学 講義棟 3 階 大講義室**

**テーマ : 「スキルアップ戦略」**

参加費 : 無料

参加登録 : 現地開催の人数制限を設けなくなったため、事前登録は必要なくなりました。

Web 参加につきましても事前の参加登録はありません。視聴後に簡単なアンケート提出をもって参加実績とさせていただきます。

生涯教育点数 : 基礎教科 30 点 (現地開催の定時総会のみ)、専門教科 20 点 (学術集会)

※詳細については学会抄録集に掲載します

問合せ先 : 滝宮総合病院 香西 宣秀

TEL : 087-876-1145 (内線 7104), E-Mail : nobuhide@dream.com



## 香臨技定時総会(4/16) 出席票・委任状の提出について

令和 5 年度一般社団法人香川県臨床検査技師会定時総会の出席票・委任状については、必要事項を記入し、施設責任者を通じて、事務局長 太田 安彦 (香川県立保健医療大学) まで送付お願い致します。

**提出締切日 : 令和 5 年 4 月 12 日 (水)** (期限厳守でお願いします)

提出先 : 事務局長 太田 安彦 (香川県立保健医療大学)

FAX 087-870-1205 E-Mail : oota@kagawa-puhs.ac.jp

\* なお、議案書は 3 月 31 日に香臨技ホームページの会員専用に掲載する予定です。

## 「香川県リーダー育成研修会」に参加して



(前列・右端が松村さんです)

松村 雄太 (川大学医学部附属病院)

香川大学医学部附属病院の松村雄太と申します。先日2月19日に開催された第1回香川県ニューリーダー育成研修会に参加させていただきました。私自身、現在の職場に入職して1年程度であり、まだルーチン業務に慣れてきたところで、この会の求める人材ではないかと思いました。しかし、いつかリーダーの職務を任命された時、自分の役割を理解できず、ただ漫然と今まで通りに業務を行うのでは、むしろ自施設、技師会の足を引っ張ることになるのではと思います。若輩ではございますが、参加させていただきました。

会自体は全てZOOM上で行われ、「臨床検査技師のタスク・シフト/シェアの推進方策についての意見の集約、共有」と「リーダーに必要なスキルを習得」を目標とし、午前中に日

臨技丸田副会長より「日本臨床衛生検査技師会、都道府県技師会の事業活動について」、宮島会長より「臨床検査技師の進むべき未来と次世代のリーダーに求めるもの」についての講演が行われました。

医師の働き方改革が行われている中、業務の分担は医師労働時間の削減に対して有用との実績があるため、タスク・シフト/シェア推進は検査技師だけでなく各病院スタッフがそれぞれ得意とする分野を分担していき一丸となって医師の働き方改革を行っていく事業となっています。また近い将来、検査技師が飽和となる時代を迎える時が訪れるようです。現在の検査室業務をそのまま維持していくのではなく、業務拡大を行うことで雇用確保にも繋がるため、医師のためだけではなく適正な検査室運営のためにもタスク・シフト/シェア推進は必要不可欠となっています。「後ろを向いて思考せずに前を向いて進むこと」、「知識だけでなく“知恵”と“決断”」がリーダーに求められることであると宮島会長の講演の中でも話されました。諸先輩方がそれぞれ理念を持って施設に適した検査室を構築されていると思います。しかし、運用開始当時と現在では検査室を取り巻く環境は異なります。現在の運用をそのまま継承するのではなく、我々の“知恵”と“決断”により検査室をアップデートしていくことが、次世代のリーダーとしての役割なのではと感じました。

午後からは「タスク・シフト/シェアをいかに推進していくか」について「意識」「技術」「余力」の3つのテーマで3～4名で1時間程度グループディスカッションを行い、最後に全体でディスカッションした内容の報告を行いました。

我々のグループは、「意識」のテーマで「タスク・シフト/シェアの意義」、「検査室、院内の受け止め方」、「検査室、院内、検査技師の意識改革」、「自分の行動、牽引について」の小項目についてディスカッションを行いました。話し合っていくと、「現在のルーチン業務の見直し、整理は必須であり、適正な人員増加によりタスク・シフト/シェアを積極的に取り組めるのでは」、「新たに実施可能となった業務を行う人だけでなく、検査室全体のフォロー体制で取り組んでいくべき」、「現在の業務に付随する事から始めていけばよいのでは」などの意見が出されました。また、実際にタスク・シフト/シェアに前向きに取り組んでいる施設の話や、他施設の進捗状況を聞く機会にもなり、自施設でタスク・シフト/シェアに取り組んでいく糸口が見えたように感じます。

医療法改正による書類作成やコロナウイルス感染症の流行によるPCR検査の増加など多くの検査室で業務が増加している中でタスク・シフト/シェアを進めていかなければならない施設も少なくないと思います。当院でもISO業務や日々のルーチン業務に追われ、積極的に進めているとは言い難い状況です。何か進めていかなければとまずは業務改善による「余力」を生み出すために「検査部効率化ワーキンググループ(仮)」を立ち上げました。まだ立ち上げたばかりですが、「後ろを向いて思考せずに前を向いて進む」ために取り組んでいく所存です。今回は、非常に有意義な研修会に参加させていただきありがとうございました。これからの検査室を担っていく世代と自負し、邁進して参りますので皆様ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

第72回  
日本医学検査学会  
(群馬県)のご案内



・ 編集後記 ・

マスクの着用が個人の判断となり、5月には5類感染症へ移行する予定となり、新型コロナにより私たちを取り巻く環境も少しずつ変化していこうとしています。今後は、対面での研修会も少しずつ増えていくのではないかと思います。Webを通じた研修は参加しやすく、多くのメリットがありました。ただ、対面での研修会で広がる、職場を超えた横のつながりが希薄となったような気がします。



(小豆島・銚子溪)

仕事をしていれば、受け入れがたい事もあるでしょうし、不本意ながらも受け入れざるをえない事もあると思います。そんな時、横のつながりがあれば、顔を合わせたときに愚痴を聞いてもらったり、相談に乗ってもらったりする事ができると思います。私のように年を取りすぎてしまっただけでは難しいですが、もしかすれば新しい扉を開くきっかけに巡り合えるかもしれません。

若い方、特にコロナによりほかの職場の方と繋がりを持つ機会が少なかった方には、ぜひ多くの対面での研修会に参加していただき、多くのつながりを作って頂きたいと思っています。きっとそれは、大きな財産となるはずです。

藤重 和久 (三豊総合病院)

～ 香臨技 求人情報 ～

現在、木太三宅病院、香川大学医学部 炎症病理部、香川大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科、坂出市立病院、その他の求人情報があります。詳しくは、香臨技ホームページをご覧ください。

求人募集依頼の連絡先：森本 弘美 (香川県立中央病院 中央検査部)  
アドレス：morippi7chin6445@gmail.com

臨検タイムス原稿送付先

〒761-0104 香川県高松市高松町2365  
医療法人社団 海部医院  
小林 万代まで  
Eメール：kobaboobu0128@hotmail.co.jp  
TEL087-843-3666 FAX087-843-3667

\* 香臨技ホームページ「会員専用」  
(ユーザー名 karingi2008 パスワード 0001)

臨検タイムス香川 通巻 332 号

【発行所】  
一般社団法人 香川県臨床検査技師会  
〒761-0704 香川県木田郡三木町下高岡2695-13  
事務局携帯電話 090-5913-1385  
【編集責任者】 小林万代 藤村一成 太田安彦  
【編集委員】 藤重和久 森西起也 森本弘美  
【製作】 有限会社シーアンドシーイシハラ  
令和5年3月発行